

学校 **東雲** (しのめ)  
 だより



TEL 31-3170・31-3180 FAX 32-1130 [http://www.hachinohe.ed.jp/higasi\\_j/](http://www.hachinohe.ed.jp/higasi_j/)

※東中学校の情報は、ホームページやブログでも公開しております。是非ご覧ください。

## 個人立志宣言に2年生の底力を見ました!

一昨日の2月13日、1年生と来年度入学予定の179名の小学校6年生、さらに116名の保護者の方々が見守るなか、2年生の立志式が行われました。

男塾の有志による演舞から始まり、個人の立志宣言、三浦康毅君と七役麻栄さんの決意文朗読(裏に掲載しています)、学年立志宣言、学年合唱、さらに生徒全員による踊り「よっちょれ」、そして最後は「書道パフォーマンス」とすべてにわたって圧巻の内容でした。立志式のどれをとっても、本番を目指して取り組んできた努力の跡がわかるもので、2年生が最上級生になった時には、東中の伝統を受け継ぎながら、さらに進化させてくれるだろうという大きな期待を抱かせてくれる内容でした。

特に素晴らしいと感じたのは、個人の立志宣言でした。全員が、出せるありったけの声で言っていました。昨年末の保護者の皆様からとったアンケートの中のご意見(学校だより124号でご紹介しました)に、「立志式や希望式で叫ばせる必要はあるのか」というものがありました。それに対し、「式の流れの中で自然な形になるよう指導したい」という旨のお答えをしました。一昨日の立志式も、絶叫する生徒も何人かいましたが、私は全く違和感を感じませんでした。広い体育館の中で、しかも2年生を含めた650名全員に聞こえるように言うためには、大きな声を出さなくてはなりません。普段からそうした経験を持たない生徒にとって、絶叫調になるのはやむを得ないことなのだと思います。そして、それはほとんどの生徒にとって、勇気を振り絞って行う行為なのだと思います。保護者の皆様も、その点でご理解いただければ幸いです。3年生になっての近い将来も含め、自身がどのような人間になりたいのかを、大勢の前で宣言できた2年生の、今後の学校生活に期待したいと思います。

(文責: 教頭 工藤聡)

### 保護者代表 下日向智子さん「激励の言葉」

2年生の皆さん、こんにちは。私は、今日の立志式を見させていただき、とても感動いたしました。皆さんが、いちだんと立派になったなあと思っております。

4月当初、2年生になったばかりの皆さんは、上級生になったことで、緊張と不安が入りまじったような顔をしていたように思います。同時に、いつも頼りになる3年生が近くにしてくれるという安心感もあったのではないのでしょうか。そんな皆さんが、成長したと感じたのは、体育祭や新人戦、文化祭の時でした。互いに声を掛け合い、仲間を信じて助け合い、最高の物を作り上げてくれました。今でも、その時々々の感動が忘れられません。今日の立志式でも、皆さんのキリッと引き締まった顔を見ることができ、とてもうれしく思っております。

さて、私事ではありますが、私は娘に対して、感謝の気持ちを持って人と接するよう教えております。感謝の気持ちを持ち続けることで、責任ある行動が身につく、何事にも立ち向かっていくことができているからです。娘は、まだまだ幼いところがあって、父に怒られるということも少なくありません。勉強は苦手ですが、部活動では常に作品を作り、体力をつけることを目標に、休まず一生懸命取り組んでいます。ゆっくりではありますが、少しずつ成長してきています。わが子の成長を一途に願う私ですが、この立志式を機会に、私も親として宣言したいことがあります。私は、娘のことを思うあまりつい過保護になってしまい、それが娘の心へのブレーキをかけてしまうことがよくあります。そこで、娘の自立のために、すぐ助けふねを出すのではなく、考えさせ、行動させてから助言をしていきたいと思っております。

皆さんの一人一人が多くの可能性を秘めています。それを無駄にすることなく、4月からは最上級生として、先輩がこれまで築いてくれたものを土台に、この東中をもっともっと発展させ市内一最高の学校にしてください。今日のテーマにあるように、「自分の弱さに立ち向かって」、学習に部活動に、そして友情に大きな花を咲かせてください。(一部編集しています。)

